

なんぶ 社会福祉だより

66

地域福祉推進計画が策定されました。

ごあいさつ みんながいきいきと活躍し、心をつないで支え合う共生のまちづくり

このたび、少子・高齢化・人口減少社会にあって、更なる地域福祉の向上と地域共生社会を作り上げていくために、「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」が一体となった「地域福祉推進計画」を策定いたしました。

これまで行政施策と一体となり「安心して暮らせるまちづくり」を目標に地域福祉の推進に取り組んできましたが、今回からは南部町の地域福祉活動推進の原動力となる各地域振興協議会との連携を図ることの重要性を明確にし、今後の5年後を目指した取り組みの方向性と役割分担を明記した内容での計画となっています。

今後、新型コロナウイルス感染症の拡大とともに、社会経済活動が低迷し社会構造が大きく変わる中で、生活課題が複雑化・深刻化するなど、新たな生活課題を抱えた世帯や制度の狭間にあって既存のサービスが受けられない方などへの対応が、より一層重要になってまいります。

本計画の基本理念である「みんながいきいきと活躍し、心をつないで支え合う共生のまちづくり」を実現するため、南部町や地域福祉推進団体とより一層連携を密にして町民の皆様の協力、参画をいただきながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続け、人と人とのつながりを大切に、みんながいきいきと活躍できる地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

結びに、この計画策定にあたり、ご尽力を賜りました策定委員の皆様、ヒアリングや意見公募に参加いただきました多くの方々から貴重なご意見をいただきましたことに心より感謝申し上げますとともに、日頃より社会福祉協議会の運営にご支援いただいている町民の皆様へ改めてお礼申し上げ、今後とも一層のご協力をお願いしてご挨拶いたします。

社会福祉法人南部町社会福祉協議会 会長 藤友 裕美

詳しくは役場ホームページに掲載されています。



配食サービスの提供体制が変更となりました。

令和3年6月1日より、食品取扱事業者に対し、HACCP（衛生管理手法）が完全義務化され、今まで以上に調理に伴う衛生管理が厳しく求められることとなりました。安否確認を目的とする「配食サービス」においても、法令に基づいた衛生管理を徹底するためにクリアすべき課題が非常に多く、これまでのようなボランティアによる調理で「配食サービス」を継続することは困難であるという結論に至りました。



そのため、6月よりお弁当の調理は社会福祉法人伯耆の国にお願いすることとし、配達日時につきましても西伯・会見両地区とも共通して火曜日・金曜日の週2回、昼食のお弁当をお届けすることに変更させていただきました。

長年に亘りまして調理ボランティアとしてご協力いただきました皆様には心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

利用者の安否確認を行うためにお弁当を配達していただく配達ボランティアは今まで通り継続をお願いしています。活動にご協力いただける方がいらっしゃいましたらご連絡をお待ちしております。

子育て応援！

2回目の開催となる「子ども服譲渡会」を令和3年6月3日、総合福祉センターしあわせ会議室で開催しました。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、予約制により30分2組ずつ入室していただく形で実施し、16組の参加がありました。

町民の皆様より事前にたくさん子ども服などを提供いただき、譲渡会参加の皆様には大変好評でした。

ご協力いただきありがとうございました。



「毎回、良いものがありますね」「とても助かります」など喜んでいただくことができました。

南部町社会福祉協議会では引き続き**子ども服リユース 制服リユース**事業を行います。ご家庭で役目を終え誰かに使ってほしい子ども服、子ども用品、マタニティ用品、中学校の制服などご提供くださいますようお願いいたします。

担当者【吉元】メール



honsho05@nanbusha-kyo.com

地域福祉推進計画とは？

- 少子高齢化・核家族、共働き世帯の増加・福祉サービスが必要な人の増加・コミュニティ意識の変化・つながりの希薄化・担い手不足
- 虐待・孤立死・いじめ・ひきこもり・非正規雇用や景気低迷による生活困窮者の増加・課題の複合化・制度だけでは対応できない生活課題の増加

→制度によるサービスと住民相互の支え合い活動の両面について、地域福祉のより一層の推進が求められるようになっていきます。



地域福祉推進計画の策定

地域福祉の考え方（自助・互助・共助・公助のネットワーク）



役員・評議員改選

この度、役員、評議員が改選となり、下記の皆様に就任いただきました。

《新役員》(任期：令和3年6月24日～令和5年定時評議員会の終結の時まで)

※敬称略

役職名	氏名	地区	所属等	役職名	氏名	地区	所属等
会長	藤友 裕美	大 国	行政経験者	理事	永栄 幸子	手 間	手間代表
副会長	佐藤 重明	東西町	東西町代表	"	岡田 揚子	賀 野	賀野代表
"	田邊千代美	南さいはく	南さいはく代表	"	田邊 元史	南さいはく	地域活動者
理事	細田 元教	東西町	学識経験者	"	青砥日出夫	法勝寺	地域活動者
"	畠 稔明	天 津	天津代表	"	糸田 由起	-	健康福祉課長（町主管課）
"	西本 和行	大 国	大国代表	監事	吉原 賢郎	大 国	社会福祉事業について見識を有する者
"	入口 幹	法勝寺	法勝寺代表	"	田中 堅司	法勝寺	財務管理について見識を有する者

《新評議員》(任期：令和3年6月24日～令和7年定時評議員会の終結の時まで)

氏名	所属団体・役職等	氏名	所属団体・役職等	氏名	所属団体・役職等	氏名	所属団体・役職等
丸山 智子	天津地域振興協議会より推薦	長尾ひとみ	地域福祉委員(入蔵)	頼田 光正	伯耆の国常務理事	田淵 千里	NPO法人南部町総合型スポーツクラブ理事
野口 裕子	手をつなぐ育成会理事	加納 究	民生児童委員(西伯)	伊藤 静也	伯耆町教育委員会CSデレクター	原 和正	西町の郷統括責任者
板持 秀	配達ボランティア(会見)	新井 将司	民生児童委員(会見)	渡邊 悦朗	福祉事務所長	庄倉三保子	役員OB・老ク連会長
岩本 栄子	地域福祉委員(落合)						

令和2年度 事業報告

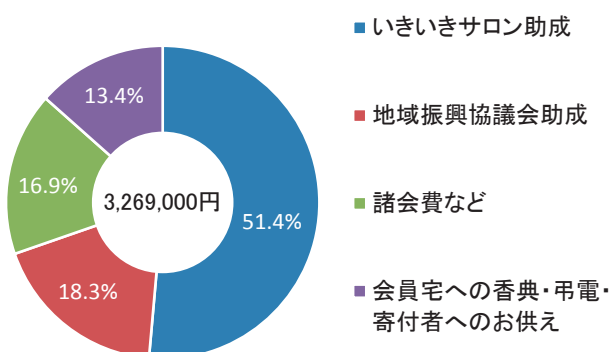
令和2年度は ①「地域福祉推進計画」の策定 ②福祉人材育成と社協事業見直し ③関係機関との連携強化 ④支え愛マップづくり等を通じた支え合い活動の推進 の4点を重点目標にかかげて取り組みを行ったが、新型コロナウイルスの出現により、世の中の様々なことが影響を受けた年となった。

コロナ禍の中では、人が「集う」ことは難しく、感染対策を取ったとしても「親睦」や「交流」の機会を持つこともなかなかできない状況で、これまで続けてきた事業や行事も中止せざるを得なかった。「いきいきサロン」や「配食サービス」「夏休みボランティア体験」等の休止や中止、「福祉バス」の利用にあってはほとんどの運行がなくなった。地域で集まることが否定され、気軽なお出かけも出来ず、地域でのつながりづくりはどうあるべきか、地域福祉活動をどう推進すればいいのかを改めて考えさせられる年であった。

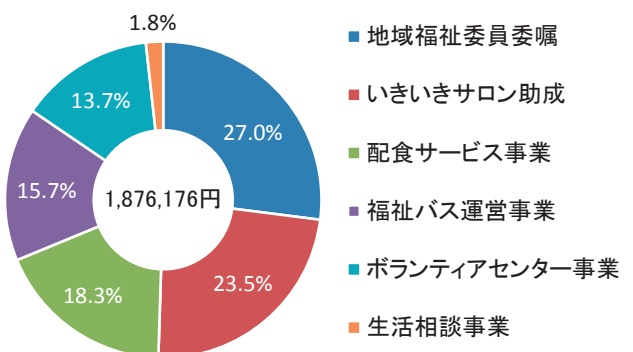
そのような中、昨年度から2年間に亘り議論が継続され、18人の策定委員による全7回の「策定委員会」を経て、令和3年3月に「地域福祉推進計画」が策定された。3月17日には、南部町と南部町社会福祉協議会へ最終提言書として提案され、これからこの提案書をもとに、今後の5か年を目標として、南部町の地域福祉を推進するために包括的な支援体制づくりを目指しながら具体的に取り組んでいくことになる。令和2年度、社協事業の見直し等についてはまだまだ議論が不十分ではあったが、更に具体的に関係機関・団体、行政や地域の皆様と協議を重ね、社協職員の専門性の向上と社協事業の再編成なども含め、地域での福祉学習を推進しながら福祉関係者の人材育成などにつなげていかなければならない。

皆様からの会費・寄付の使い道

会費



寄付



令和2年決算 資金収支計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(単位:円)

収 入		支 出	
会 費 収 入	3,264,000	人 件 費 支 出	41,687,586
寄 付 金 収 入	1,876,176	事 業 費 支 出	3,865,040
補 助 金 収 入	39,050,370	事 務 費 支 出	12,618,187
受 託 金 収 入	13,263,300	そ の 他 の 支 出	1,660,407
事 業 収 入	1,593,807	共同募金助成金事業費	1,104,754
受取利息配分金収入	7,986	助 成 金 支 出	4,292,300
そ の 他 の 収 入	867,186	負 担 金 支 出	33,600
長期貸付金回収収入	221,480	固 定 資 産 取 得 支 出	2,992,160
		長 期 貸 付 金 支 出	130,000
収入合計	60,144,305	支出合計	68,384,034

収支不足額については、令和元年度末資金残高より補填

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

会計名	資産の部		負債の部	
一般会計・公益事業特別会計合算	流動資産	84,634,312	流動負債	7,467,253
	現金預金	84,477,092	事業未払金	2,676,839
	未収金	157,220	未払費用	645,741
	仮払金	—	職員預り金	1,086,721
			賞与引当金	3,057,952
			負債合計	7,467,253
	固定資産	72,514,162	純資産の部	
	基本財産	2,000,000	基本金	2,000,000
	その他の固定資産	70,514,162	国庫補助金等特別積立金	31,459,920
	土地	3,500,000	国庫補助金等特別積立金	31,459,920
	建物	52,931,054		
	車両運搬具	12,463,932		
	器具及び備品	1,499,876		
	ソフトウェア	—		
	長期貸付金	50,000	次期繰越活動増減差額	116,221,301
	長期前払費用	69,300	(うち当期活動増減差額)	—10,871,889
			純資産の部合計	149,681,221
	資産の部合計	157,148,474	負債及び純資産の部合計	157,148,474

令和3年度事業計画

重点目標

- ①法人組織体制の基盤整備
- ②地域福祉推進計画に沿った取り組みの具体化
- ③配食サービス事業のあり方の検討
- ④災害や感染症に対応するボランティアセンター事業の推進強化
- ⑤アウトリーチ^(※)による包括的支援体制の推進

(※) 支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に働きかけて情報・支援を届けるプロセスのこと。

主な実施計画

1. 法人運営事業

- (1) 法人組織の基盤づくり
- (2) 社協活動基盤強化への取り組み
- (3) 広報啓発活動の実施

2. 地域福祉推進事業

- (1) 地域福祉ネットワーク活動
- (2) いきいきサロン活動支援事業
- (3) 福祉活動への啓発および活動支援事業

3. 生活相談支援事業

- (1) 総合相談事業の実施
- (2) 福祉資金貸付相談の実施
- (3) 日常生活自立支援事業の実施
- (4) 生活困窮者自立相談支援事業の実施
- (5) 生活支援コーディネーター設置事業

4. ボランティアセンター事業

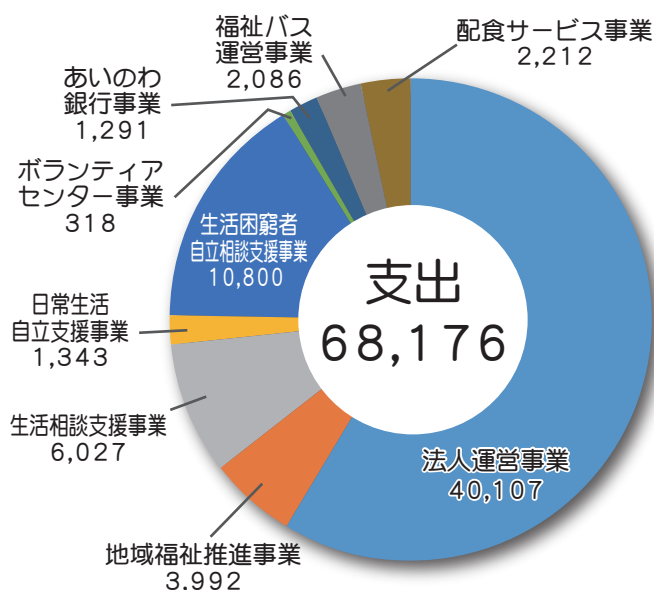
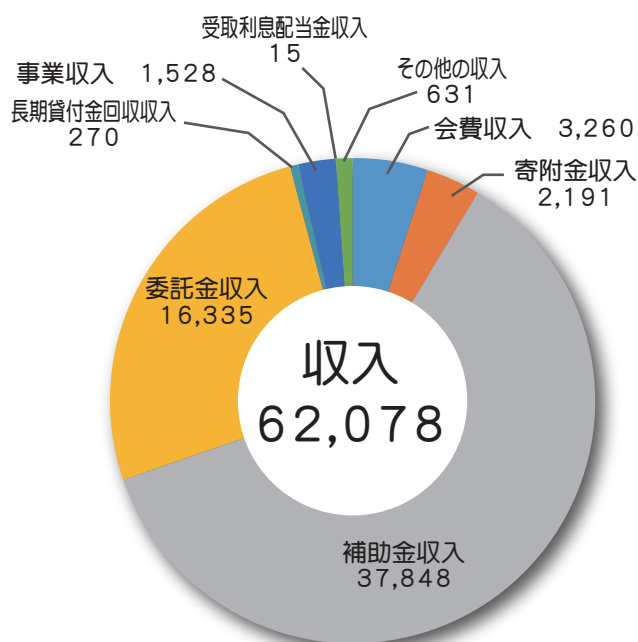
- (1) 福祉教育関連事業
- (2) ボランティアセンター機能の充実
- (3) あいのわ銀行の運営

5. 地域生活支援事業

- (1) 配食サービスの実施
- (2) 福祉バスの運営

令和3年度収支予算

(単位：千円)



収支不足額については、令和2年度末資金残高より補填

地域福祉委員交代のお知らせ

(任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日まで)

集 落	旧委員		新委員
清水川	庄 倉 三保子	⇒	大 塚 恭 子
フォレストタウン	三 浦 常 雄	⇒	篠 田 俊 治
四季	花 房 和 夫	⇒	石 口 妙 子
鍋倉	山 岡 加奈子	⇒	櫃 田 智 浩
馬場住宅	岡 田 員 代	⇒	西 村 智恵子
江原	板 智 明	⇒	板 節 夫

令和3年6月30日現在届出分 ※敬称略

募 集 2021年度手話奉仕員養成講習会【入門編】受講者

(市町村)では、きこえない・きこえにくい人のコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成するため、講習会を開催します。

内 容

厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラムに準じて実施

(1) 実技 (2) 聴覚障害者福祉等に関する講義

対 象

きこえない・きこえにくい人等の福祉に理解と熱意を有する方(高校生以上)

とき・ところ・定員

会場	受講期間	会場	日時	定員
西部 会場	2021年9月14日 ～2022年2月22日 毎週火曜日(21回)	米子コンベンションセンター (米子市末広町294) 他	19:00 ～20:30	20名

※申し込み先着順で定員になり次第締め切りとさせていただきます。

受 講 料

2,000円(テキスト代別途)

受講申込方法及び申込期限

◎受講申込方法

郵 送 の 方：手話奉仕員養成講習会受講申込書に記入し、申込書記載の住所宛に

「入門編受講申込書在中」と赤で記入の上、郵送してください。

F A X の 方：F A X送信後、問い合わせ先へ確認の電話をしてください。

申込フォームの方：当協会ホームページまたは、案内申込書記載のQRコードからアクセス可能。

申し込み先着順で定員になり次第締め切りとし、定員を超えた場合、受講経験のない方を優先とします。

◎受講申込締切

2021年8月31日(火) 必着

受講申込先・問い合わせ先

〒682-0822 倉吉市葵町724-15

鳥取県中部聴覚障がい者センター

TEL: 0858(27)2355 / FAX: 0858(27)2360

担当：伊藤(itou@torideaf.jp)・深田(fukata@torideaf.jp)



ありがとうございました



(令和3年5月31日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・地域振興協議会への助成金・福祉バス運営経費・配食サービス事業など福祉活動の財源として活用させていただいています。

香典返し

(敬称は省略させていただきました。)

寄付者名	集落名	故人名	金額
遠藤 洋子	能竹	幸子	金一封
潮 正美	猪小路	美恵子	金一封
玉木 久之	市山	操枝	金一封
石上 貞春	いずみ	愛子	金一封
北尾 幸枝	原	鹿枝	金一封
足井 壮志	北方	京子	金一封
金澤 美樹枝	赤谷	豊子	金一封
竹内 若子	市山	稔	金一封
小林 行正	田住	アエダ	金一封
角田 和彦	法勝寺4区	大塚和代	金一封
中岡 勤	高姫	正子	金一封
大田 薫	倭	幸輝	金一封
狭古 恵子	米子市	新山美子	金一封
乾 貴	金山	照代	金一封
雑賀 隆	福里	美代子	金一封
赤井 正年	諸木	孝美	金一封
石橋 透	法勝寺1区	玲子	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額
吉持 幸樹	田住	治夫	金一封
大 由紀子	下阿賀	稔康	金一封
秦 日出海	上阿賀	皎	金一封
細田 倫子	馬佐良	船田博史	金一封
山野 良夫	東西町2区	一枝	金一封
吉田 慎吾	馬佐良	淳一	金一封
瀬崎 恭啓	猪小路	綾子	金一封
長谷川 定夫	原	美佐	金一封
井原 一成	柏尾	澄子	金一封
谷口 秀人	東西町3区	品子	金一封
白石 洋之助	法勝寺2区	都	金一封
深田 明美	法勝寺2区	貢三	金一封
三村 直樹	落合	知子	金一封
遠藤 勝康	北方	富枝	金一封
福岡 英生	八金	功	金一封
三嶋 敏彦	宮前一	常子	金一封
西村 祐正	大河内	光則	金一封

一般寄付

寄付者名	寄付内容
三浦 一朗	お米 60 kg

見舞い返し

寄付者名	集落名	金額
吉持 俊夫	田住	金一封

◎ご寄附の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。

◎寄附金額等の記載につきましては、寄附者ご本人の意思によるものです。

編集後記

会社を退職後、何か趣味を持った方が良いのかなと思います、土いじりは嫌いではないので、鉢花を育てることにしました。

ではどの花が良い？ 思い浮かばない、その頃は5月に入り各ホームセンターの店先が色鮮やかな多種類の花が出ていて、どの鉢花にするか？ 寒さに強い物、弱くても室内で冬越し出来るもの、など色々考えた末ブーゲンビリアに決め、決め手は苞の色が鮮やかな赤い色でした、とにかく明るい、光にかざすと苞が赤く透けるような、大げさかな。

それから十五年、これまで十二種類くらいを近隣の店やネットで購入して育て、挿し木で増やし、それを知り合いや知り合いの友人達に譲ったりして、人との繋がりが増えていった。

それは趣味として、花を育てることと人との繋がりが広がることなど当初は考えても無く、想像すらしてもなく、ただ自分で花を育て増やす、それが上手に出来るのか、自信もないけれどやってみようと思つて、色々失敗しながらも何とか半分くらい成功するようになり、その楽しさにはまってしまうたことで起きた副産物みたいなものだった。

だがその副産物のおかげで、繋がりのできた人たちが花をあげたり、もらったりすることで、花に関することのほか、お互いの地域のことや事情など、参考になる話が聞けたりして良い関係が出来ていると感じている。

人の心を癒し繋がりが築いてくれること、花を育てること、どちらが副産物なのか、価値観で考えれば繋がりを増やせたことが主産物になり、そのために花を育て始めたのか、考え方は本人次第なので、オーライとして、これから花の育成を続けようと思つた。

(T・J)